

令和4年度第6回原町区地域協議会 会議録

① 開催日 令和4年10月6日(木)

② 場所 労働福祉会館2階会議室1

③ 会議時間 開始 午後 1時55分
終了 午後 3時03分

④ 出席委員(11人)

会長 平間 勝成	副会長 本間 健一	委員 奥村 健郎
委員 半谷 眞知子	委員 志賀 ゆかり	委員 波田野真由美
委員 貝塚 大暉	委員 後藤 悦宏	委員 藤原 ヒロ子
委員 伏見 順栄	委員 鈴木 洋一	

⑤ 欠席委員(4人)

委員 村上 勇一	委員 齋藤 健一	委員 田中 章広
委員 小野 幸枝		

⑥ 説明のため出席した者の氏名

企画課長 猪狩 忠信
企画課企画係長 内城 弘志
企画課企画係副主査 本間 嵩

⑦ 出席した事務局職員

星 高光 庄司 一弘 高野 良 北原 圭子

⑧ 担当書記

北原 圭子

⑨ 本日の会議に付した案件

(1) 報告事項

(仮称)南相馬市第三次総合計画基本構想(素案)に係るパブリックコメント手続の実施について

(2) 協議事項

先進地視察研修について

⑩ 会議録署名人

委員 後藤 悦宏 委員 伏見 順栄

1 開会

午後 1 時 55 分開始

■原町区地域振興課長

委員の皆様には、お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。皆様お集まりいただきましたので、定刻前ではありますが、ただいまより令和 4 年度第 6 回原町区地域協議会を開会いたします。

2 会長あいさつ

■原町区地域振興課長

はじめに、原町区地域協議会平間勝成会長からご挨拶を頂戴いたします。

◇会長

(会長あいさつ)

3 議事

■原町区地域振興課長

これから議事に入りますが、これ以降は、会長が座長になり会議の進行をお願いいたします。

(1) 会議録署名人の指名

◇議長

それでは、次第により議事を進めてまいります。

はじめに、会議録署名人の指名ですが、会議録署名人には、後藤委員と伏見委員の 2 人をお願いします。

(2) 書記の指名

◇議長

次に、書記の指名ですが、書記は原町区地域振興課北原主事を指名します。

(3) 報告事項

◇議長

では、報告事項「(仮称)南相馬市第三次総合計画基本構想(素案)に係るパブリックコメント手続の実施について」担当課から説明をお願いします。

■企画課

(説明)

◇議長

只今の説明に関して、何か質問等があればお願いします。

◎鈴木委員

資料を見させていただきましたが、「100年のまちづくり」が何度も大きく出てきます。市長の選挙公約が市のキャッチフレーズになっているのは、全国で3か所しかなく、東北や北海道にもありません。そうしたものが議会や地域協議会で問題にならないのか、不思議です。

もう一つは新聞で知りましたが、CIO補佐の委嘱について、市長の他に副市長

が2人いる中で、さらにC I Oが必要なのでしょうか。さらに、4人のC I Oのうちの1人は、市長が市議会議員であった時に同じ会派だった方です。職員の方は答えることが難しいと思いますが、忖度はなかったのでしょうか。

また、説明にありましたが、具体的時系列の目標がなく、あまりに抽象的であり、質問ができません。事前に、地域協議会や市民に内容や一般に公開できる時期などを明示できないのでしょうか。この件は、市議会や地域協議会は通っているのでしょうか。また、市の内部での意思疎通はされたものなのでしょうか。

最後になりますが、国の縛りはないとの事ですが、国や県の基本構想を見ないで100年先の計画を立てられるのでしょうか。さらには、100年先という、実際の人口もわからない状態で大きな目標を立てられるのでしょうか。答えられる範囲で説明をお願いします。

■企画課

100年のまちづくりについては、100年先ということで、想像が難しい部分も多くあると思いますが、市といたしましては、100年構想ということではなく、市長が、選挙公約として掲げた100年のまちづくりを持続可能なまちづくりの視点で市の総合計画に落とし込み、目標にしております。

今回は、(仮称)南相馬市第三次総合計画基本構想(素案)として、8年後の将来像を掲げています。8年後の目標でさえ、今後どのようになるか分からない部分もありますが、100年先を見据えて、100年先も持続可能なまちが残っているよう、今の生活を大切にしたいと考えています。そして、8年後、20年後、30年後も持続可能なまちづくりを進めていくことが、100年のまちづくりであるとと考えています。

ご指摘いただいたように、分かりづらい部分はあると考えていますので、分かりやすく説明をしていきたいと思っております。

また、新聞に掲載されていたC I O委嘱についてですが、南相馬市では、DXとして、市役所の業務効率化を行い、地域の活性化に繋がられるようデジタル化を進めています。専門的であり、市役所内部だけで進めるのは難しいと判断し、副市長としての役割とは別に、DXという専門的な国家資格の持つ外部の有資格者3人を委嘱させていただいております。

今回の(仮称)南相馬市第三次総合計画基本構想(素案)に戻りますが、基本構想(素案)のパブリックコメントとして、9月28日より10月17日までをパブリックコメントの受付期間としております。(仮称)南相馬市第三次総合計画基本構想(素案)の原案を各区役所の窓口や各生涯学習センターなどで、公開しております。パブリックコメントとしていただいたご意見等を集約し、市役所内部で検討した後、改めて各区地域協議会への諮問と附属機関への諮問を行い、12月の市議会に議案として提出する予定です。

(仮称)南相馬市第三次総合計画基本構想が議決された後、市としての具体的取組をまとめていく考えです。

今回は、10月17日までがパブリックコメントの提出期間ですので、資料を読んでいただき、ご意見がある場合は提出してください。

最後に、国や県の計画との関わりについてです。まず、国では「第2期復興・創生期間」として、原子力災害被災地域にあつては、令和12年度まで国が全面に立って、復興を進めていくことから、市としては、国の支援を受けながら復興をしていきたいと考えています。

続いて、県の関係も申し上げますと、同じく県総合計画においても令和12年度までを計画期間としておりますので、市としても県計画も確認しながら、総合計画の策定を進めているところです。

◎鈴木委員

お願いが1点あります。DXやSDGSなどの難しい言葉が多いと感じます。分かりやすい言葉で広報等に載せてください。また、高齢者などは、生涯学習センターなどに足が悪くて行くことができないことも多いです。一人でも多くの市民の理解を得る工夫をお願いします。

■企画課

DXやSDGSなど分かりにくい言葉が多くありますので、注釈を付けたりしていますが、今後、計画書（概要版）を作り全戸配布を考えていますので、さらに分かりやすくする工夫をいたします。

具体的には、生涯学習センターなどに足が悪くて行くことができない方など、一人でも多く知っていただけるよう、身近な広報紙でお知らせを行います。また、SNS等を活用し、ダウンロードできるようにします。よろしければ、皆様方からもお声がけをお願いします。一度に皆様に集まってもらっての説明は難しいと思いますが、今後、前期基本計画につきましては、市で説明会を開催することも考えていますので、よろしくをお願いします。

◎鈴木委員

了解しました。

◇議長

9ページ以降の7つの政策の柱で「こども」や「しごとづくり」はひらがなとなっています。ユネスコでも、「こども」は子どもとなっています。あえて「こども」とひらがなにしたのはなぜですか。

■企画課

これらの表記については、国の方で、令和5年4月の「こども家庭庁」の発足に合わせ、「こども」の表記はひらがなにしているということがあり、国に倣ってひらがなとしました。また、「しごとづくり」につきましても、国の方で、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」という計画があり、分かりやすくする目的でひらがなとしております。そのため、「しごとづくり」もひらがな表記といたしました。ご意見としていただきました表記の仕方につきましては、今後、検討していきたいと思っております。

その他、質問がなければ、以上で報告事項を終わります。

(4) 協議事項

■企画課

次に(4)の協議事項に入ります。事務局から先進地視察研修についての説明をお願いします。

■事務局

(資料2にて、事務局案の説明)

4 その他

5 閉会

午後3時03分終了

■原町区地域振興課長

以上をもちまして、第6回原町区地域協議会を閉会といたします。ありがとうございました。

以上のとおり相違ありません。

会長

平間 勝成

会議録署名人

後藤 悦彦

会議録署名人

沈 光 順 崇